コーオプ型教育のコンセプトと導入方策

2004 年 3 月 25 日(木)

時 間	講　義　項　目
9：40 ～ 10：50	□ **仕事、社会へのマッチング――インターンシップ 10 年間の経験** ～コーオプ型教育で大学カリキュラムの構造を変える～ 東京経済大学　**田村　紀雄** 1．試行期をすぎたインターンシップ 2．10 年間の経験が教えたもの 3．ホスト企業に甘えてはならない 4．インターン期間は短すぎる 5．求められる指導者の拡充　〈質疑応答〉
11：00 ～ 12：10	□ **コーオプ型教育の特色――欧米にみるコンセプトと評価** ～大学主体、修学年限の延長、３・６ヵ月の連環、その効果～ 日本福祉大学　**丸山　優** 1．コーオプ教育のコンセプトとその運営 (1) プログラムの目的・内容と参加条件・評価方法　(2) 運営体制～大学・企業等受入れ側の共働と分担 2．コーオプ教育の実際と社会評価～米国等の実施状況、個別大学事例 3．わが国における本格的導入に向けて～課題と期待　〈質疑応答〉

昼　食

13：10 ～ 14：20	□ **A〔聖徳大人文学部〕現代ビジネス学科の６ヵ月研修の実際** ～３年次必修、教学・体験の運営、学生・企業サイドの評価～ 聖徳大学　**齋藤　良雄** 1．学内の組織――運営方法 2．受入先の開拓 3．事前事後の講習 4．実習期間中のフォロー体制 5．実習の評価――受入側、学生のアンケート結果 6．就職状況 7．実習直後の学生からの体験談　〈質疑応答〉
14：30 ～ 15：40	□ **B〔羽衣国際大産業社会学部・羽衣学園短大〕インターンシップへの取組み事例について** ～短期（２～４週間）・長期（４～６ヵ月）プログラムの運営方式～ 羽衣国際大学・羽衣学園短期大学　**森本　博次** 1．インターンシップ導入の目的 2．現在まで５年間のインターンシップ推進の経緯 3．インターンシップ教育の具体的事例 (1)受入企業の開拓　(2) 学生募集から就業体験・事後学習までのプログラム 4．現状での問題点・課題 5．はかりしれない教育効果――更なる実学教育を目指して　〈質疑応答〉
15：50 ～ 17：00	□ **C〔龍谷大社会学部〕コミュニティマネジメント学科の挑戦** ～「体系的コーオペレィティヴ教育」カリキュラムの導入とその構想～ 龍谷大学　**古賀　和則** 1．コーオペレィティヴ教育～“教室”と“現場”を有機的に結合 2．体験・参加・参画・創造～４ステップでの体系的な学習と実践 3．ゼミ（１～４年次必修）・実習・卒業研究 4．現場実習と事前事後の実習指導 5．社会現場（受入先）とフィールドインストラクター　〈質疑応答〉